

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

【今年度 1 回目の前森スギの販売を行いました。】

貯木場に並べられた前森スギ。



ラベル表示された前森スギ。



【11月25日（月）】山形県森林組合連合会の共販所である天童木材流通・加工センターで開催された「第1356回秋季優良原木市」にて、前森山団地より生産された前森スギが販売されました。

今回の原木市には、前森スギを6m（長尺材）と4mの長さに切り揃えた約140m³の原木（丸太）を出品したところです。

今年度初めての前森スギの販売ということもあり、共販所の入札会場には買い方である事業者の皆様が会場の席を埋めるほどに参加していただき、山形森林管理署最上支署長からも前森スギ販売に係る挨拶がありました。



共販所入札会場の様子。

落札結果は買受者の皆様が見守る中、共販所の職員により丸太の仕分け毎に読み上げられ、この日の入札では出品した前森スギは全量落札（お買い上げ）となりました。

山形森林管理署最上支署では、供給開始より3年目となり徐々に認知度も浸透しつつある **高国** 高齢級前森スギを今後も安定的に市場に供給できるよう取り組んでいきます。



販売にあたり支署長より挨拶。

【生産請負事業（一貫作業）の苗木運搬。】

丸太を積み運搬中の運搬車。



空荷の運搬車に苗木を積み込み。



国有林野で行われている代表的な仕事として、人工林などを伐採し丸太を生産する生産事業というものがあります。

その中でも主伐（皆伐）を伴う場合は一貫作業システムを導入し実施しています。一貫作業システムは立木の伐採から苗木の植付けまでを一体的に行う作業システムで、伐採現場で使用している林業用機械などを活用することで、地拵（残材や枝条の整理）から植付けまでの省力化・効率化を図ることでコストの低減、作業期間の短縮が可能となっています。

従来、植付け作業する場合は伐採した場所まで人力で運んでいました。それを丸太の運搬車（フォワーダ）に積み込み運搬することで、苗木運搬回数の減少、労力の軽減につながっています（運搬車は丸太積みに戻るのので、ついで作業となる）。

山形森林管理署最上支署では、「木を切って・植えて・育てる」のサイクルを維持し、森林の持つ二酸化炭素の吸収能力向上や多面的機能の発揮に繋がるようこれからも適正な森林整備を行っていきます。



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

